

令和5年度
高知県立公文書館年報
第4号



高知県立公文書館

目 次

第 1	公文書館の概要	1
1	設置目的等	1
2	沿革	2
3	施設の概要	3
4	開館時間	4
第 2	組織	4
1	組織	4
2	職員構成	4
第 3	令和 5 年度事業実績	5
1	施設の利用状況	5
2	歴史公文書等の選別、収集、移管、整理、保存	5
3	行政資料の収集	9
4	現用公文書の書庫管理	9
5	利用・閲覧	10
6	普及・啓発	11
7	調査・研究	13
8	市町村支援	13
9	研修	14
10	監査	15
11	公文書館の歩み	17

第 1 公文書館の概要

1 設置目的等

(1) 設置目的

県行政の推移が跡付けられる歴史資料として重要な歴史公文書等を保存し、後世に引き継ぎ、県民の皆様の利用に供するとともに、歴史公文書等を基に県政の歩みに関する調査研究を行う。

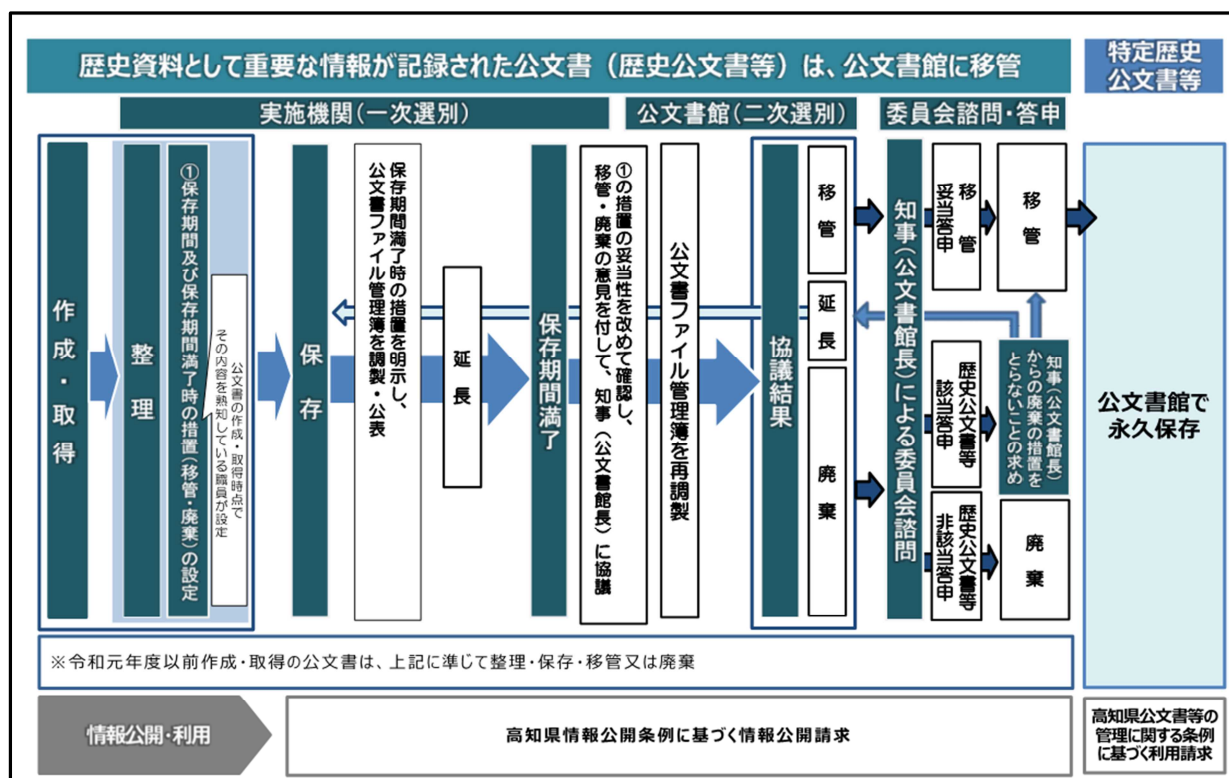
(2) 設置の根拠

高知県公文書等の管理に関する条例（令和元层高知県条例第 1 号）第 4 条

(3) 役 割

- ア 歴史公文書等を収集し、及び保存し、並びに閲覧、展示その他の利用に供すること。
- イ 歴史公文書等に関する調査研究を行うこと。
- ウ 歴史公文書等についての専門的な知識の普及及び啓発を行うこと。
- エ 県内の市町村その他の団体の文書の管理に関し助言その他の支援を行うこと。
- オ 知事が保存する公文書の管理を行うこと。（中間書庫の管理運営）
- カ 知事部局の文書の管理状況について監査を行うこと。

公文書の作成から特定歴史公文書等の保存までのフロー



2 沿革

平成 21 年度に、歴史的公文書の保存や活用のあり方について検討していただくために、学識経験者で構成する「高知県歴史的公文書の保存等に関する検討委員会」を設置し、歴史公文書を適切に管理しながら、県民の皆様にも有効に活用していただくための提言をまとめていただいた。

公文書館の設置についてもこの提言の中に盛り込まれており、一時は県立図書館と併設することも検討されたが、平成 24 年度に県立図書館を高知市民図書館との複合施設として新たに整備するという方針が決定され、公文書館の設置については、県立図書館の施設を活用して整備する方向で検討することとなった。

その後平成 28 年度には県立図書館の移転後の施設を活用して公文書館を整備し、空きスペースをまんが文化を振興する拠点や生涯学習の場として活用する方針がまとまった。

これを受けて、同年度末には「高知県公文書館（仮称）整備基本計画」を策定し、翌 29 年度にはこの基本計画に基づき、施設改修の基本設計及び実施設計を行った。

続いて平成 30 年度には、「高知県の公文書のあり方に関する検討委員会」を設置し、公文書管理法の趣旨を踏まえ、本県における公文書の作成から廃棄、また歴史公文書制度など公文書管理のあり方をまとめていただいた。

これらを踏まえ、令和元年 7 月に「高知県公文書等の管理に関する条例」を制定し、同月には「高知県公文書管理委員会」を設置して、条例の施行規則や文書管理規程などについて諮問し、運用ルールを整備した。また、12 月には施設の改修工事を終え、令和 2 年 4 月 1 日に「高知県公文書等の管理に関する条例」の施行に合わせて「高知県立公文書館」を開館した。

【年表】

平成 21 年度	「高知県歴史的公文書の保存等に関する検討委員会」による報告のとりまとめ
平成 24 年度	「県庁周辺の県有施設利用検討会」において、公文書館は県立図書館施設を活用する方向で検討することを決定
平成 28 年度	「現県立図書館跡施設利活用ワーキング」で利活用策を取りまとめ
平成 29 年 3 月	「高知県公文書館（仮称）」整備基本計画策定
平成 29 年度	基本設計・実施設計
平成 30 年 12 月	改修工事着工
令和元年 7 月	「高知県公文書等の管理に関する条例」公布
令和元年 12 月	改修工事完成
令和 2 年 4 月 1 日	「高知県公文書等の管理に関する条例」施行 高知県立公文書館開館
令和 6 年 1 月 1 日	「認証アーキビスト」として職員 1 名が認定される

3 施設の概要

所在地 高知市丸ノ内一丁目1-10

敷地面積 4,413.75㎡

建築面積 1,389.46㎡

延床面積 4,466.09㎡（公文書館 3,169.94㎡）

構造・規模 鉄筋コンクリート造 3階建

主な施設

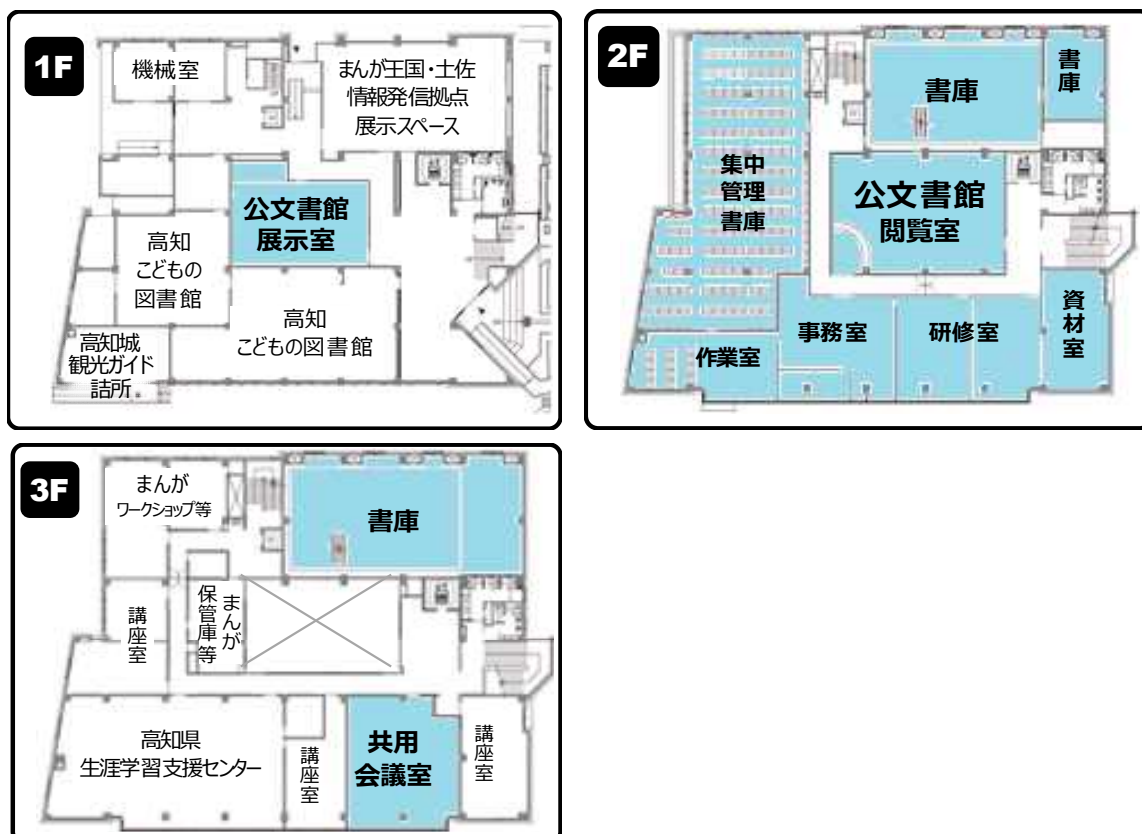
階	施設名	床面積	主な使用目的
1	展示室	120 ㎡	常設展、企画展等の実施
2	書庫	1,230 ㎡	特定歴史公文書等の保存、知事部局の現用公文書の集中管理
	閲覧室	178 ㎡	特定歴史公文書等の閲覧、行政資料の利用
	事務室・作業室	191 ㎡	公文書の評価・選別作業、複製物作成、劣化対策処理等、特定歴史公文書等の整理・管理
	研修室	127 ㎡	県及び市町村職員向けの研修の実施等
3	会議室	119 ㎡	公文書館及び入居施設の運営

設 備 エレベーター2基、不活性ガス消火装置

収蔵能力 書架延長 5.9Km

閲覧席 22 席

館内概略図



改修工事の概要

- 1 総事業費 8億283万円
- 2 工期 H30.12.11～R1.12.25
- 3 改修内容
 - 耐震化及び老朽化対策
 - ・鉄筋コンクリート造耐力壁の増設等
 - ・電気、空調、給排水、消火設備等の改修等
 - 公文書のセキュリティ対策と安全対策
 - ・施設全体のセキュリティ向上及び書庫の厳重な管理ができるように整備
 - ・書庫の安全強化のため窒素ガス消火設備を導入
 - バリアフリー対策
 - ・来館者用エレベーター、多目的トイレの新設
 - ・玄関の自動ドア化及びインターフォンの設置
 - ・主要な出入口には引き戸を設置
 - ・障害者団体からのご意見を踏まえた点字ブロックの位置や配色への対応、多目的トイレを含む計6か所に呼び出しボタンの設置等
 - その他
 - ・国旗等の掲揚ポール、外灯の整備

4 開館時間 午前9時から午後5時

○休館日 土・日・祝日及び年末年始（12/29～1/3）

※企画展等のため開館する場合あり。

第2 組織

1 組織（令和6年4月現在）

（兼）

館長（1）— 次長（1）	チーフ	担当（3）
	（総務企画担当）	うち短時間再任用 1 会計年度任用職員 1
	チーフ（1）	担当（7）
	（歴史公文書担当）	うち短時間再任用 2 会計年度任用職員 3

2 職員構成

職 位	館長	次長	チーフ	主幹	主事	専門員	会計年度 任用職員	計
配置数	1	1	1 (1)	2	1	短3	4	13

※（ ）内は兼務職員で外数、「短」は短時間再任用職員

第3 令和5年度事業実績

1 施設の利用状況（令和5年度）

年 度		令和5年度	令和4年度	令和3年度
開 館 日 数		245 日	248 日	245 日
企画展・常設展開催日数		222 日	177 日	183 日
利 用 者 数	展 示 室	3,243 人	2,655 人	1,963 人
	閱 覧 室	1,553 人	1,267 人	1,289 人
(参考) 施設全体の入館者数	公文書館の開館日のみ	13,777 人	12,350 人	9,560 人
	公文書館の休館日を含む	28,754 人	25,809 人	20,318 人

2 歴史公文書等の選別、収集、移管、整理、保存

(1) 歴史公文書等の選別・収集

ア 公文書管理委員会への諮問・答申（令和5年度開催）

（単位：冊）

		選別対象	選別結果		備 考
			歴史公文書等 該 当	歴史公文書等 非該当	
第1回 (R5.7.11)	諮問	33,556	1,279	32,277	移管→廃棄 5件
	答申	33,556	1,310	32,246	廃棄→移管 36件
第2回 (R5.8.8)	諮問	32,714	1,251	31,463	移管→廃棄 8件
	答申	32,714	1,551	31,163	廃棄→移管 308件
第3回 (R6.2.6)	諮問	20,206	2,097	18,109	移管→廃棄 3件
	答申	20,206	2,304	17,860	廃棄→移管 210件 継続審議 42件
合 計	諮問	86,476	4,627	81,849	移管→廃棄 16件
	答申	86,476	5,165	81,269	廃棄→移管 554件 継続審議 42件

イ 移管を受けた特定歴史公文書等の概要

(単位：冊)

移管日	移管数	主な特定歴史公文書
令和2年4月1日	2,203	行幸誌、知事引継書、県議会会議録、裁判資料（繁藤事件、農地改革関連）、叙勲・褒章、災害被害状況、公害紛争処理、河川改修工事、公有水面埋め立て
令和3年4月1日	5,112	副知事引継書、昭和天皇崩御関連、叙勲・褒章、育樹祭、看護師学校養成所の指定申請、ハンセン病を正しく理解するフォーラム、文化施設の設置（歴史民俗資料館、県民文化ホール、郷土文化会館）、米軍演習水域漁業補償、漁港の写真、不当労働行為申立事件
令和4年4月1日	2,457	東西軸エリア活性化プラン、ねんりんピックよさこい高知2013、S56市町村庁舎写真集、県公報、青年の船、青年の翼、ニホンカワウソ生息調査、高知女子大保育短大設置、高知女子大池キャンパス建築、学校経営計画、学校評価、警察教科書
令和5年4月1日	2,573	知事日程表、2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業、東西軸、吉田茂銅像関係、県政車座談義、「対話と実行」座談会、南海トラフ地震対策推進本部会議、「世界津波の日」高校生サミット、美術館建築、まんが甲子園スカウト関連、県立大学法人化、産業振興推進本部設置、横浪大規模年金保養基地整備、志国高知幕末維新博開催、林業大学校構想、漁協合併推進協議会、浦戸湾三重防護関係工事
令和6年4月1日	5,134	教育等の振興に関する施策の大綱、四国八十八箇所霊場と遍路道世界遺産と登録推進の取組、総合教育会議、第16回全国育樹祭皇太子殿下行啓、H17～19市町村合併支援本部、南海トラフ地震対策行動計画、日本一の健康長寿県構想推進会議、障害者福祉に関する新長期計画、県立文学館基本構想検討、高知城石垣改修、東京オリンピック・パラリンピック事前合宿招致、産業振興計画（本部会議・フォローアップ委員会等）、紙業試験場建築、土佐・龍馬であい博、映画「県庁おもてなし課」、足摺海洋館、第20回全国農業担い手サミット
計	17,479	

ウ 選別対象公文書の推移

(単位：冊)

選別年度	選別対象	うち施行日後公文書	
		うち施行日前公文書	うち施行日後公文書
令和元年度	2,203	2,203	
令和2年度	47,342	47,342	
令和3年度	50,818	50,818	
令和4年度	78,191	60,431	17,760
令和5年度	86,476	67,020	19,456
計	265,030	227,814	37,216

※施行日前公文書：「高知県公文書等の管理に関する条例」の施行日（令和2年4月1日）より前に作成された公文書

※施行日後公文書：「高知県公文書等の管理に関する条例」の施行日（令和2年4月1日）後に作成された公文書

エ 実施機関別の移管の状況（令和6年4月1日移管）

(単位：冊)

	選別対象	当年度以外の 答申による移管		移管文書 合計
		うち移管		
知事部局	48,405	3,459	4	3,463
教育委員会	21,111	1,515		1,515
選挙管理委員会	68	1		1
人事委員会	82	8		8
監査委員	237	30		30
労働委員会	162	20		20
収用委員会	24	1		1
高知海区漁業調整委員会	0	0		0
内水面漁場管理委員会	0	0		0
公営企業局	928	9		9
警察本部	13,458	75		75
公安委員会	0	0		0
県公立大学法人	2,001	12		12
計	86,476	5,130	4	5,134

(2) 特定歴史公文書等の整理・保存（令和6年4月1日現在）

ア 整理

(ア) 公開用目録の作成

現物を確認し文書の劣化状態を把握したうえで、ファイルの内容の詳細を記録した公開用目録を作成し公開した。

公開日	移管日	公開数（冊）	移管後1年以内の 目録公開率
令和2年4月1日	令和2年4月1日	521	100%
令和3年4月1日	令和2年4月1日	1,682	100%
令和4年4月1日	令和3年4月1日	5,112	100%
令和5年4月1日	令和4年4月1日	2,457	100%
令和6年4月1日	令和5年4月1日	2,573	100%
合 計		12,345	100%

(イ) 公開用目録に記載された利用制限区分の状況（令和6年4月1日現在）

（単位：冊）

目録に記載された ファイル数	利 用 制 限 区 分 の 別		
	審 査 済		要 審 査
	公 開	部分公開	
12,345	383	12	11,950

イ 保存

識別番号を付し、排架計画を作成のうえ書庫に排架した。

書庫の収蔵状況

（単位：ファイルメーター）

	全体	積層書庫		中間書庫 (作業室含む)
収蔵容量	5,928	4,605		1,323
文書種類		特定歴史公文書等	現用文書	現用文書
収蔵冊数	36,886 冊	17,479 冊	5,122 冊	14,285 冊
収蔵量	3,761	2,670		1,091
収蔵率	63.4%	58.0%		82.5%

※中間書庫：知事部局で作成された現用公文書のうち「30年保存公文書」の集中管理書庫。
保存期間満了後に歴史公文書となることが多いためあらかじめ保存環境の良好な公文書館内の書庫で保存するもの。

※ファイルメーター：文書を平積みした時の高さ(厚み)により文書量を表す際の単位。

ウ 廃棄

特定歴史公文書等の廃棄実績 なし

エ 複製の作成、デジタルデータ化

特定歴史公文書等のうち、劣化し将来判読不能となるおそれのあるものを抽出し、デジタルデータの複製物を作成した。

また、他機関が所蔵する当館が保有していない明治期当の公文書の複製物の取得も計画的に実施した。

デジタルデータの作成状況 (冊)

令和4年度末	656
令和5年度作成	27
令和5年度末計	683

令和5年度にデジタルデータ化した主な特定歴史公文書等

昭和24年度 第1類 行幸誌 庶務1冊の1 12
昭和63年7月 副知事引継書 ほか

他機関所蔵文書の複製の取得

・明治期の県の公文書デジタル化 仁淀川町（旧池川町所蔵） 高知県公報（明治6年～12年）のデジタルデータ化 23冊
--

3 行政資料の収集

県が発行した統計書や報告書、事業計画書等の刊行物のほか、県内市町村や他県の行政機関が発行した行政資料を収集し、整理、保存し閲覧に供した。

行政資料の収蔵状況 (冊)

区 分	4年度末 (A)	5年度登録 (B)	5年度除籍 (C)	5年度末 (A)+(B)-(C)
高知県関係資料	1,274	476	5	1,745
県内市町村関係資料	197	26	0	207
他県資料	168	12	0	212
国資料	410	17	0	427
その他	24	16	0	40
合 計	2,073	563	5	2,631

4 現用公文書の書庫管理

知事部局の30年保存文書を中間書庫において集中管理し、保存期間満了後に歴史公文書等となりうる重要な公文書を適切な環境の下で管理している。

これらの現用公文書について、担当課の求めに応じて、供覧、貸し出しを行った。

中間書庫での管理状況

(冊)

令和4年度末現在	19,312
令和5年度入庫	1,018
令和5年度出庫	923
うち移管	564
うち廃棄	354
うち原課へ返却	5
令和5年度末現在	19,407

中間書庫で管理している公文書の令和5年度の利用状況

(冊)

閲 覧	190
貸し出し	209

5 利用・閲覧

(1) 閲覧業務

特定歴史公文書等として公開した目録に掲載されたものについて、利用請求書の提出を受けて、閲覧等に対する内容審査を行い閲覧室において公開した。

ア 利用請求の状況

(件)

	令和5年度	うち 利用決定数	期間延長 した件数	取下げ	審査 請求数
特定歴史公文書等 利用請求件数	289	289	10	2	0
うち一般利用件数	58	56	10	2	0
うち移管元利用件数	83	83			
うち県史編さん事業 利用件数	148	148			

イ 利用決定の状況 (移管元及び県史編さん事業利用分除く)

(件)

利用決定 件数	期間延長	利用決定状況 (利用制限)		利用の方法		審査請求
		無	有	閲覧	写しの交付	
56	10	40	16	43	13	0

(2) 相談業務 (レファレンス)

来館又は文書、電話等による特定歴史公文書等や行政資料に関する相談、照会に対応した。

(件)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
レファレンス件数	79	64	24

6 普及・啓発

(1) 企画展

「備える・学ぶ 南海トラフ地震対策」

趣 旨：今後 30 年以内に 70～80%の確率で発生すると想定されている南海トラフ地震において、犠牲者を限りなくゼロに近づけるために、本県が全国に先駆けてこれまで取り組んできた「南海トラフ地震対策」を特定歴史公文書等を中心とした資料から紹介することで対策への理解を深め防災意識の向上につながることを目的とする。

企画展 「備える・学ぶ 南海トラフ地震対策」	
時 期：	令和 5 年 7 月 24 日（月）～12 月 25 日（月） 108 日間 臨時開館：7 月 30 日（日）・8 月 27 日（日）
内 容：	・「高知県の南海トラフ地震対策のあゆみ」を国内の状況と対応させ、これまで取り組んできた高知県の対策の経過を年表で時系列の整理をし、年表に示した第 1 期から第 5 期までの各行動計画に対応する展示では、どのような経過をたどり施策が決定され実行されてきたのか公文書を中心に県政の記録を紹介。 ・「絵で見て学べる」大型パネルでは、全県地図に津波避難タワーの設置数、津波の想定高、緊急輸送道路、総合防災拠点、災害拠点病院、高台への庁舎移転の状況などを紹介すると共に、表示した「高知県防災マップ」の QR コードを来場者のスマホで読み取り、身のまわりの避難場所を確認できるようにして、来場者の防災意識の向上を求めた。 ・子ども向けの「防災紙芝居」の複製の掲示や、防災キャラクターと学べる「じしん・つなみのお話し」のビデオ上映により次世代の県民の防災意識の醸成につなげた。
展示資料：	年表「高知県の南海トラフ地震対策のあゆみ」（パネル）、全県地図大型パネル「絵で見る 高知県の南海トラフ地震対策」、南海大震災誌、南海地震対策行動計画、南海トラフ地震津波によるがれき等拡散シュミレーションほか 特定歴史公文書等 13 点、行政資料 10 点、ほか（全 28 点）
入場者数：	1,876 人 （平均入場者数 17 人／日）

(2) ミニ展示

「花を恋して 90 年 植物学者 牧野富太郎」

趣 旨：高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」の連携事業として、こうちミュージアムネットワークが実施する「牧野を生んだ土佐の自然」事業への参加による牧野富太郎博士に関連した内容の展示を閲覧室において開催。

ミニ展示 「花を恋して 90 年 植物学者 牧野富太郎」	
時 期：	令和 5 年 10 月 2 日（月）～令和 6 年 3 月 22 日（金） 114 日間
内 容：	特定歴史公文書の中から、牧野富太郎博士に関連する文書を展示。
展示資料：	県民グラフ（花を恋して 90 年植物学者牧野富太郎、牧野文庫、ノジギク） 牧野植物園設置条例、昭和 30 年知事引継書 特定歴史公文書等 5 点 全 5 点
スタンプラリー参加施設	スタンプ押印の人数 121 名

(3) 常設展示

高知県では初めての公文書館として、より多くの県民の皆さまに公文書館の存在を知っていただきご利用いただくために、現在所蔵している特定歴史公文書等の現物を解説と共に紹介し、県行政のあゆみを県民の知的資源である公文書の記録によって未来へと引き継いでいくという公文書館の果たすべき役割とその重要性を伝える。

常設展 「公文書館を知ろう」	
時 期：	令和6年1月15日(月)～6月28日(金) 114日間
内 容：	令和5年4月に新たに移管となった特定歴史公文書の中から、県内で開催された「博覧会」や「県の特産品」の消費拡大に向けた取組など特色のある公文書を紹介。 日頃、目にする機会の少ない歴史公文書を身近に感じていただくとともに、公文書管理制度や公文書館の業務内容を紹介する。 I 公文書館とは 公文書のライフサイクルを紹介 II 公文書の選別とは 特定歴史公文書に該当となるまでの過程を実際に移管された文書と共に紹介 III 公文書の活用 企画展の紹介(歴史公文書を広く知っていただく取組) IV 令和5年度に移管された歴史公文書の紹介 展示資料：H24年度～南海地震対策再検討委員会、南海トラフ地震対策行動計画(第2期)、「志国高知幕末維新博」オープニングイベント、県庁舎落成記念アルバムほか 特定歴史公文書等 8点 行政資料 2点 全10点 入場者数：1,243人 (平均入場者数 11人/日) ※全期間

常設展 「公文書からたどる高知県の教育の変遷」	
時 期：	令和5年2月15日(水)～6月30日(金) 93日間
内 容：	I 教育委員会制度と高知県教育委員会事務局機構の変遷 第1回教育委員会や教育委員会事務局の課名決定時の会議録、教育委員会事務局の機構の変遷を特定歴史公文書等と共に紹介 II 公立高等学校の入試制度の変遷 戦後から現在までの公立高等学校の入試制度の変遷を特定歴史公文書等と共に紹介 III 教育改革等の変遷 平成8年度の「土佐の教育改革を考える会」からの提言から始まった土佐の教育改革から現在に至るまでの過程を特定歴史公文書等と共に紹介 展示資料：高知県教育委員会会議録(S23, S24, S25, S31, S32, S38, S39, S42, S43)、第1回高知県総合教育会議(H27)、教育等の振興に関する施策の大綱(H27)、高知県教育振興基本計画(H27)、新入試制度リーフレット(H18, H22, H27)、戦後高知県教育史(S47)ほか 特定歴史公文書等 9点、行政資料 5点 ほか 全22点 入場者数：1,123人 (平均入場者数 12人/日) ※全期間

(4) 視察、見学の状況

件数	12 件
人数	167 名

7 調査・研究

(1) 企画展

<調査研究の概要>

- ・本県が全国に先駆けて取り組んできた「南海トラフ地震対策」について、特定歴史公文書等や行政資料をもとに時系列でわかりやすく読み解き、刻々と変化していく現状に対して、どのような経過をたどり施策を組み立ててきたかを、現物の歴史公文書と併せてパネルの解説を示すことで理解しやすい展示を試みた。
- ・本県の地震対策の経過や国内の状況変化との関係性について、公文書等から読み解き「年表」に整理して全体像を示し、それぞれの行動計画の展示と併せて変遷を追えるよう工夫した。
- ・特に、今回の展示では地震対策の経過とともに、各地域で進んでいく津波避難タワーなどのハード面の整備状況について、展示した特定歴史公文書に記録された情報を「大型の全県地図パネル」にまとめ、想定された津波到達時間の各地の状況、東日本大震災後に発表された震度分布・津波浸水予測を受け、急速に進んだ津波避難タワーや市町村庁舎の整備状況などを、目で見て実感できるような構成とし、公文書から読み取れる情報を示して展示した公文書と関連付けた。
- ・この展示を契機に来場者の防災意識の醸成につなげるため、大型パネルには「高知県防災マップ」のQRコードを掲示し、南海トラフ地震対策の「今」も意識してもらえるような仕組みとした。

8 市町村支援

(1) 公文書の整理・保存に関する個別対応

<概要>

令和3年度に庁舎移転関係で現地調査等を実施した宿毛市の歴史公文書選別に向けての目録作成状況確認や助言及び今後の方針の確認等のフォローアップを実施した。

また、香美市への支援を実施し、当館の取り組みや歴史公文書に関する説明を行うとともに、香美市が実施している学校資料の整理状況や公文書の保管状況を確認すると共に、市史編さんの準備開始にむけた公文書の把握についての助言を行った。

県内の市町村では初めての「公文書等の管理に関する条例」を制定した高知市では、令和5年度から公文書管理委員会に関する条項が一部施行となり、令和6年度以降からの現用文書に関する運用や歴史公文書選別に関する準備作業等の取組が本格化し始めたこともあり、先行して制度の運用を行っている県での実情や具体的な進め方などの助言を行った。

9 研修

(1) 県職員（実施機関職員）の研修（条例第 34 条第 2 項）

歴史公文書管理制度等に係る研修会	
◇方 式：	WEBによる通年受講研修（各テーマの分割視聴及び随時視聴可能方式） 及びチェックシート（保管公文書ファイル名目録作成における注意事項） の周知
◇内 容：	第 1 章 「歴史公文書」に関する定義 第 2 章 「歴史公文書等」の選別から移管まで 第 3 章 「歴史公文書等」の評価・選別
◇対 象：	知事部局及び各実施機関の全職員

(2) 公文書館職員の研修（規則第 43 条第 1 項）

アーカイブズ研修Ⅰ（国立公文書館）	
◇日 時：	令和 5 年 8 月 21 日（月）～25 日（金）
◇内 容：	「アーキビストの職務基準書」が示す基礎的知識の習得 （国立公文書館実施の公文書館における初任者対象研修）
◇参加者数：	2 名（オンライン）※その他の職員は聴講として必要な講義を各自受講
アーカイブズ研修Ⅱ（国立公文書館）	
◇日 時：	令和 6 年 2 月 1 日（木）～2 日（金）
◇内 容：	「アーキビストの職務基準書」が示す個別の知識・技能の向上 テーマ：電子公文書の管理・保存・利用
◇参加者数：	1 名（オンライン）※その他の職員は聴講として必要な講義を各自受講
アーカイブズ研修Ⅲ（国立公文書館）	
◇内 容：	「アーキビストの職務基準書」が示す専門的知識の習得
◇参加者数：	受講対象者なし
◇アーカイブズⅢ修了論文提出	1 名
◇「認証アーキビスト」認定（令和 6 年 1 月 1 日）	1 名
公文書の評価・選別の実務研修	
◇日 時：	【第 1 回】令和 5 年 7 月 12 日（水）【第 2 回】令和 5 年 8 月 9 日（水）
◇内 容：	国立公文書館 上席公文書専門官 依田 健 氏 「公文書の管理に関する法律」に基づく公文書等の評価選別 国の評価選別に係る最新の動向に係る講義及び高知県の歴史公文書選別 の具体事例の意見交換
◇参加者数：	【第 1 回】10 名 【第 2 回】8 名

10 監査

文書管理者が自ら行う点検の実効性を高めるとともに、条例規則等の規定の遵守状況を監査責任者が客観的に把握し改善するよう促すことにより、知事部局における文書管理の適正性の確保を図るため、基本方針を定め、これに基づき毎年度計画的に定期監査（書面監査及び実地監査）を実施した。

令和5年度公文書管理監査（知事部局）の概要

(1) 監査の対象

ア 監査の対象機関

知事部局における全所属を対象（実地監査は16所属）

イ 監査の対象文書

原則として前年度の文書管理の状況（保管については当該年度を含む。）

(2) 実施時期 令和5年8月から12月まで

(3) 実施方法

ア 書面監査 各所属において事前に行った点検の結果及び公文書ファイル管理簿に基づく書面による監査

イ 実地監査 自己点検の結果や事故報告書の内容を実地に確認するとともに、現物ファイルを抽出により確認し、監査を行った。

(4) 監査の重点事項

令和5年度定期監査においては、次の事項に重点を置いて、公文書管理制度への理解度や基本的なルールの定着度の確認、文書管理者がその役割を果たしているかといった視点から監査を行った。

- ・ 公文書の作成＜移管・廃棄簿の作成＞
- ・ 公文書の整理＜公文書ファイルの作成、公文書ファイルの分類、ファイル名など＞
- ・ 公文書ファイル管理簿＜レコードスケジュールの設定を含む＞
- ・ 移管又は廃棄の手続き ※特に誤廃棄の防止
- ・ 保管方法 ※特に誤廃棄の防止

(5) 監査の結果

ア 総括的事項 ＜全庁的に適正化や改善、向上の取り組みが必要と認められた事項＞

○「改善、是正すべきもの」相当

- ・ 保存期間が適切でない事例
- ・ 電子決裁による起案方法等が適切でない事例

決裁で必要な文書や、決裁時に修正指示を行った指示文書、決裁後の文書等が文書情報システムに添付、保管されていない。

電子・紙併用決裁時の「紙文書回付」欄の記載内容が不十分。

添付された電子メールのファイルが文字化けして内容が確認できない。

- ・ レコードスケジュールの設定が適切でない事例

理由なく「満了時に判断」と設定

※令和5年度以降は「満了時に判断」の選択はできない設定とした。

- ・公文書ファイル管理簿が正確に作成されていない事例
 - 「資料文書」などファイル名だけでは内容がわからない登録がされている。
 - 存在しないファイルが登録されている。
 - 背表紙と回議書のファイル名称が一致していない。
 - 公文書ファイル管理簿に登録されていない公文書ファイルが存在。
 - ・廃棄の手続きが不適切な事例
 - 文書管理者の決裁をとらずに廃棄。
 - 廃棄簿未作成。
 - 廃棄するファイルと廃棄簿との照合ができていない。
 - ・移管・廃棄簿が公文書ファイル管理簿に登録されていない事例
 - 移管・廃棄簿のファイル登録をせず、別のファイルに綴じられている。
- 「改善に向けた検討を求めるもの」相当
- ・不適切な簡易決裁
 - ・公文書ファイルの名称の付し方、編さん方法、背表紙の作成方法
 - ・常用ファイルの取扱い（常用の定義の不適切な解釈）
 - ・保存期間の起算日の設定（会計書類や複数年契約書類などの起算日の誤り）
- イ 個別事項
- 今回の定期監査において確認された不適切事例
- ◆改善、是正すべきもの
- ・公文書ファイルに設定された保存期間とは異なる保存期間の公文書がとじられていた事例（本庁 1 所属）
 - ※前年度に同様の不適切な公文書の編さんにより公文書紛失事案が発生しており、所属内での改善措置の周知徹底が不十分であり改善を求めた。
 - ・ファイル管理簿のファイル名と背表紙の名称の不一致やファイル名称と関連のない公文書がとじられていた事例（本庁 1 所属）
 - ※適切なファイル名登録と文書の編さんの改善を求めた。
- 令和 4 年度に誤廃棄等の事故報告のあった所属
- いずれの所属も改善策がとられ、誤廃棄防止のための適切な取組が概ねとられていた。

1 1 公文書館の歩み

【令和5年4月～令和6年3月】

令和5年	
4. 1	特定歴史公文書等（令和4年4月1日移管分2,457冊）目録公開 【常設展】「公文書からたどる高知県の教育の変遷」開催（2/15～6/30）
10	第1回選別会議
12	高知県県史編さん現代部会協議（県史編さん事業での特定歴史公文書の利用） ・見学（3名）
14	第2回選別会議
17	第3回選別会議
21	第4回選別会議
26	愛媛県私学文書課 視察見学（3名）
28	第5回選別会議
5. 2	倒木等危険樹木調査（管理敷地内全量）
8	第6回選別会議
12	第7回選別会議
15	書庫結露対策保温工事（積層書庫3、貴重書庫、中間書庫）5/15～6/12
16	【市町村支援】公文書管理条例施行に向けての実務的作業協議（高知市）
19	第8回選別会議
22	第9回選別会議
23	第10回選別会議
24	全史料協大会・研修委員会（オンライン）への出席（委員）
26	第11回選別会議
30	高知県県史編さん現代部会協議（特定歴史公文書利用時のルール）
31	第12回選別会議
6. 1	新潟県歴史資料保存活用連絡協議会研修会への職員派遣（講演講師）
5	第13回選別会議 倒木等危険樹木の樹木医による危険度判定調査（全量調査時危険性の高い樹木）
12	第14回選別会議
14	第15回選別会議
27	高知県立大学文化学部「地域学概論」講義への職員派遣（講師）
7. 10	公文書管理委員会委員による諮問文書現物確認
11	第1回公文書管理委員会 倒木等危険樹木の伐採（6本）
12	【公文書館職員の専門研修】「公文書の評価選別」 10名受講 （講師：国立公文書館 上席公文書専門官 依田 健氏）
	第16回選別会議
13	第17回選別会議
14	第18回選別会議
19	第19回選別会議
20	第20回選別会議

7.	21	第 21 回選別会議
	24	【企画展】「備える・学ぶ 南海トラフ地震対策」開催 (7/24～12/25)
		第 22 回選別会議
	25	第 23 回選別会議
	26	第 24 回選別会議
	27	第 25 回選別会議
8.	7	公文書管理委員会委員による諮問文書現物確認
	8	第 2 回公文書管理委員会
	9	【公文書館職員の専門研修】「国の評価選別等にかかる最新の動向」8 名受講 (講師：国立公文書館 上席公文書専門官 依田 健氏)
	16	移管公文書(所属保管分)受入(8/16, 17)
	19	高知新聞に企画展記事掲載
	21	アーカイブズ研修 I (国立公文書館・オンライン) 2 名受講(8/21～25)
		県庁インターンシップ生の館内見学(8/21 33 名, 8/28 32 名, 9/4 34 名)
	22	高知県立大学「地域学実習」受入・見学(19 名)
	28	第 1 回監査会議(公文書管理に関する監査) R 5 年度監査手法全般について
	30	総務部インターンシップ生の館内見学(8/30 5 名, 9/5 6 名)
9.	1	仁淀川町(旧池川町)所蔵明治期資料調査
	4	公文書管理に関する監査(実地監査 18 所属 9/4～10/31)
	6	高知県立大学「集中講義」(特定歴史公文書の紹介、利用等の説明、見学)(8 名)
	8	第 2 回監査会議(公文書管理に関する監査の 4 所属の実地監査の状況共有)
	28	高知放送ニュースで企画展紹介放映
10.	2	高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」連携事業としてスタンプラリー及び ミニ展示「花を恋して 90 年 植物学者 牧野富太郎」(10/2～3/22)
	3	広報広聴課くろしおくん来館 ミニ展示・スタンプラリー取材 インスタグラムに 記事掲載
	10	高知市立中央公民館事業「第 94 期高知市民の大学」講義への職員派遣(講師) (一歩踏み込んだ高知の地域資源・地域文化の再発見、新発見) 「公文書の世界」
	17	移管公文書(本庁集中管理書庫分)受入
	31	全史料協全国(東京)大会臨時委員会(オンライン)への出席(委員) FM高知「Just In Case 災害への備え」で企画展紹介放送(10/31, 11/7)
11.	9	受入公文書(移管)燻蒸処理(1 回目)
	17	熊本市総務局行政管理部総務課 視察・見学(3 名)
		第 26 回選別会議
	27	第 27 回選別会議
	29	全史料協大会・研修委員会への出席(委員)
	30	全史料協全国(東京)大会 運營業務対応(委員)(11/30～12/1)
12.	4	第 28 回選別会議
	6	第 29 回選別会議

12. 11	第 30 回選別会議
15	第 31 回選別会議
18	第 32 回選別会議
20	第 33 回選別会議
21	第 34 回選別会議
22	現用公文書（30 年保存）の集中管理書庫（中間書庫）への受入
26	「令和 5 年度公文書管理に関する監査報告書」による総括文書管理者への結果報告
令和 6 年	
1. 1	「認証アーキビスト」として職員 1 名（歴史公文書担当チーフ）が認定
15	【常設展】「公文書館を知ろう！」開催（1/15～6/28）
30	【県職員の研修】歴史公文書管理制度に係る研修会 WEB による通年受講研修（随時試聴可能方式）及びチェックシートの周知 1/30～3/22 ※以降常時視聴可能
2. 1	アーカイブズ研修Ⅱ（国立公文書館・オンライン） 1 名受講（2/1～2）
5	公文書管理委員会委員による諮問文書現物確認
6	第 3 回公文書管理委員会
19	第 3 回監査会議（公文書管理に関する監査実施後の本課・公文書館の意見交換）
29	受入公文書（移管・集中管理引継）燻蒸処理（2 回目）
3. 4	【市町村支援】 現地訪問（香美市） 公文書の保管状況、市史編さん準備開始に向けた公文書の把握助言
6	移管公文書（所属保管分）受入
7	【市町村支援】 現地協議（宿毛市） 目録作成状況確認、今後の方針の確認等フォローアップ
18	四国ミュージアム研究会 視察・見学（19 名）
25	廃棄公文書（中間書庫等）の廃棄作業
26	寒川文書館 視察・見学（2 名）
27	受入公文書（移管）燻蒸処理（3 回目）